

令和4年9月定例記者会見

令和4年8月24日(水)午前11時～

<主な発表項目>

○ 令和4年度上半期事業進捗状況について

- ・6月に株式会社明治と「体調管理パートナー契約」（包括連携協定）を締結し、市民の体調管理並びにシティープロモーションを推進している。これまで、百歳体操チャレンジ教室、となベジプロジェクト事業と関連した取組みを行っており、今回はイオンモールとなみでイベントを開催した。このイベントでは、プロジェクトを皆さんに知っていただくとともに、1073にちなんだゲーム形式で楽しみながら健康づくりの大切さをPRした。引き続きプロジェクトの周知とともに、新たな事業を展開していけるよう進めていきたい。
- ・となみ暮らし応援プロジェクトの申請状況は、昨年度を上回るペースの申請となっている。また、空き家については、各地区自治振興会にご協力いただき調査した結果、解消された空き家は60戸、新たな空き家73戸で502戸となっており、前年度より13戸増加している。
- ・砺波市プレミアム付商品券を県と連携して3万セットを発売し、2日間で完売したところであり、今後は商品券の活用により市内の経済活性化を期待する。
- ・燃油及び肥料、飼料の高騰による生産費の上昇による農業経営を圧迫していることから、米などの主穀作物、畜産、施設園芸作物の燃油等の高騰分に支援を行う。
- ・散居景観保全事業では、新たにパッカー車の活用を拡充したところ、8月1日現在で7件の利用があった。軽トラック回収も49件あり、散居村の保全と剪定枝の処分の両立に手応えを感じている。なお、「剪定枝リサイクル大作戦」は11月に実施することとしており、今年度も砺波高校生の協力を得ることとして調整を図っている。
- ・庄川水記念公園再整備事業基本計画の策定については、検討委員会を設置し、7月に第1回目の会議を開催した。今後、庁内検討委員会や砺波庄川まちづくり協議会との意見交換を経て、第2回目の委員会を開催することとしている。
- ・庄川地域の認定こども園は、引受け法人による認定こども園の令和5年4月からの開園に向け、7月に起工式を行い、周辺整備も含めて事業を進捗しているところである。また、庄東地域保育施設整備は、概ね予定地の調整も整い実際の用地確保を進めることになり、この後、引受け法人を選定し、令和6年度からの開園を目指して準備を進める。

○ 令和4年度砺波市防災デー/砺波市防災訓練について

9月の防災月間に合わせ9月25日(日)、五鹿屋地区を中心に、東野尻地区及び鷹栖地区の3地区において、砺波市総合防災訓練を開催する。

※例年2,000人規模⇒コロナ禍のため400人に絞って実施(昨年度は「ステージ3」のため中止)

今回想定被害として、

ア 新型コロナウイルス感染症等の感染が、避難所でも拡大の恐れがある。

イ 前日からの豪雨により、水位が上昇し、庄川左岸及び小矢部川の右岸で越水及び堤防決壊の恐れがある。

各地区とも地域の実情に応じた特色ある訓練を行うが、今回新たな訓練として、寺院や宿泊施設等と連携した避難訓練やクラウドサービスを活用した情報共有訓練などを行うこととしている。

○ 「チョイソコとなみ」の登録会員を募集しています！

これまで庄東4地区及び庄川地区の一部で運行してきたデマンドタクシー「愛のりくん」は、本年10月から、庄西、般若、庄川中学校区に対象エリアを拡大するとともに、目的地となる停留所に市内全ての医療機関を新たに加えるなど、これまでよりさらに利用しやすい地域交通サービスとしてリニューアルする。また、事業の名称も、現行の「デマンドタクシー愛のりくん」から「チョイソコとなみ」に改め、実証運行を開始する。

現在、「チョイソコとなみ」の新たな会員を募集するとともに、ご利用方法を広く周知するため、ポスターやパンフレットを作成し、対象となる14地区で説明会を開催しているところである。今後も広報となみや市ホームページをはじめ、行政出前講座などにより多くの皆さんにご利用いただけるよう、引き続き、積極的に制度の周知を図っていく。

○ 8月市議会定例会補正予算案の概要について